



同友しずおか

題字：遠藤 在氏 榛原支部

私の逸品

1枚の紙は創造力で生まれ変わります！

三協紙業(株)

詳細はWEBで！

(静岡支部)

静岡同友会

検索



中小企業家同友会全国協議会 第48回定時総会 IN 大阪

「同友会理念の実践で、人が輝く持続可能な社会へ」

静岡同友会青年部発足記念祝賀会

「尊敬される次代のリーダーとして仲間を増やそう」

特集

会員訪問記

土屋 賢太郎氏 弁護士法人 こだま法律事務所・三島支部

高村 巖氏 (株)アラビカコーヒー・沼津支部

シリーズ

委員会・部会通信 鈴木 雅夫氏 (株)ハチマル・共育委員会委員長

その他
主な内容

支部だより、新入会員・名義変更紹介、友達の輪、イントロin沼津

平成28年度 重点課題

- ① 経営指針の成文化率を高め、人を生かす経営の実践で、同友会型企业づくりを進めます。
- ② 中小企業憲章の精神をいかした中小企業振興基本条例の制定をめざします。
- ③ 早期に1200名会員を達成し、地域の活力を生み出す活動を推進します。



中小企業家同友会全国協議会 第48回定時総会 in 大阪

同友会理念の実践で、人が輝く持続可能な社会へ

7月14日(木)～15日(金) シェラトン都ホテル大阪

DOYU2016



全体会風景

「同友会理念の実践で、人が輝く持続可能な社会へ」をメインテーマに、中小企業家同友会全国協議会（中同協）第48回定時総会が大阪で開催されました。今年度の中同協議案審議をはじめ、15の分科会、パネルディスカッション、特別挨拶に、全国から1,306名、静岡から24名の参加者が一堂に会し、学びあいました。

初日の全体会では、開催地を代表して堂上勝己代表理事（大阪同友会）が、続いて主催者を代表して鋤柄修会長（中同協）が挨拶されました。総会議案に関する提案が行われた後、本年度方針案に基づく各分科会が開催されました。分科会で学びを深め、その後の懇親会では総会実行委員長の挨拶後、来賓の近畿経済産業局長、大阪市長、大阪府中小企業団体中央会専務理事、大阪商工信用金庫会長が登壇しました。

2日目の全体会では、宮本聡中小企業庁長官から、同友会運動の成果である中小企業憲章と中小

企業振興基本条例制定運動についてお話をされ、憲章の理念に基づいた政策を展開していきたいと挨拶されました。続いて、広浜泰久幹事長（中同協）から、初日分科会を振り返りながら議案の補足報告を行い、全議案は満場一致で採択されました。その後、「持続可能な社会をつくり、地域と日本の新しい未来を切り拓く～エネルギーシフトの学習と実践を～」をテーマに、エネルギーシフト推進協議会の中同協地球環境・政策・経営労働・企業連携の4委員会・連絡会代表と鋤柄会長の5名によるパネルディスカッションが行われました。エネルギーシフトを各地同友会の方針に、同友エコの実践、中小企業振興基本条例等でエネルギーシフトを地域ぐるみで創り出していこうと行動提起がされ、平沼辰雄氏（中同協地球環境委員長）より「中小企業家エネルギー宣言」を提起し、採択されました。

その後、山中伸哉教授（京都大学iPS細胞研究所所長）が特別挨拶されました。東大阪で町工場を営む家庭に生まれた同氏は、父親の病気を間近で接しながら完治させたいという思いがビジョンとなって、現在のiPS細胞の研究に結びついている話をされました。同研究所の使命はiPS細胞の医療応用。研究ビジョン、成果報告の一方で、特許問題、研究所を支える9割が有期雇用であることの課題なども報告されました。

閉会挨拶は加藤明彦氏（愛知同友会会長）から来年の愛知開催に向けての想いを語り、幕を閉じました。

第4分科会 【経営指針の成文化と実践の運動】

経営指針の成文化から実践運動へ

～『経営指針成文化と実践の手引き』（改訂版）の活用を～

「経営指針成文化と実践の手引き」（以降手引き）の改訂版の編集がほぼ完了したことを受け、「経営指針の成文化から実践運動へ」、というテーマで行われました。

手引きの改訂は約3年という歳月をかけて「手引き改訂プロジェクト」のチームが行ってきました。プロジェクトのメンバーである水戸谷剛氏（東日本機電開発㈱・岩手同友会）、吉武恭介氏（ワコウクリーンサービス㈱・徳島同友会）、高橋賢氏（㈱高橋・富山同友会）、渡辺学氏（ニイガタ㈱・神奈川同友会）、田中久喜氏（税理士法人アイデア・京都同友会）、森茂博氏（和新一工業㈱・福岡同友会）の各経営指針を創る会（地域により名称は異なる）会長と、宮城の会長であり今回のプロジェクト責任者の玄地学氏（東洋産業㈱・宮城同友会）をコーディネーターとして、各地の成文化

への取り組みと課題について報告がありました。

各地の創る会の共通する課題は、指針創りをどのように社員と共に行い、継続するか、そして、指針の実践が見えないことです。また、労使見解が指針書に反映されていない問題と、労使見解の実践の進捗と対策を図る「企業変革支援プログラム」1・2の活用が深まっていないことも明らかになりました。

今回の手引きの改訂の主眼は、経営指針の成文化運動から実践運動へと次の段階への橋渡しの意味があります。指針創りを会社づくりの中心に据え、創る会をやり方、方法を学ぶ場ではなく、労使見解の理解を深める場とすることで、支部活動と連携させ、同友会運動の進化と増強につなげることを確認し、終了しました。

望月 宣典氏（清水クレジット㈱・静岡支部）

第6分科会【人を生かす経営の実践】

人を生かす経営を自社と同友会で実践する

～労使見解を自社で、同友会で、同友会事務局で、地域で～

(株)サンフォートは、日本マクドナルドのフランチャイジーとして徳島県内に十数店舗を展開されている会社です。創業以来グローバル企業の戦略の元、順調に成長を続けてきました。しかし、昨年・一昨年度と、マックグループ内で相次いだ不祥事や、消費者ニーズとかけ離れた販売戦略が客離れを起し、サンフォートの売上は激減。廃業していく仲間も出てくるほどでした。厳しい経営状況の中、報告者の山城真一氏（(株)サンフォート・徳島同友会）が下した決断は「廃業もしない、解雇もしない」でした。それは、同友会で培った人間尊重の経営と、どのような経営状況下に置かれても決して環境のせいにはしない経営者としての覚悟の表れでした。「厳しい時こそ会社も人間も成長のチャンス」と捉え、企業変革支援プログラムを活用し、従来からの人を生かす経営を更に深

化させ、全店舗一丸となって危機に立ち向かっていきました。各店舗の店長はリーダーシップからオーナーシップへと意識改革し、今年度の財務は劇的に改善、困難な状況を乗り越えつつあります。また県代表理事も務められる同氏は「役員と事務局のあり方も会社と同じ」と人に重きを置いた組織運営を提唱し、発足以来事務局退職者ゼロ、十三年連続会員増強へと結実しています。

「労使見解にたった経営実践こそが、グローバルスタンダード」サンフォートスタイルは、苦境にあえぐ日本マクドナルドが注目するところまできています。今回の報告が日々の経営に悩み苦しんでいる仲間をどのくらい勇気づけたでしょうか。私も、その中のひとりです。

遠藤 直樹氏（(株)マルエ・御殿場支部）

第14分科会【見学分科会】

大阪企業家ミュージアム見学と大阪市の中企業支援施設 ＝大阪産業創造館 訪問

総会会場からバスに乗り20分ほどで大阪企業家ミュージアムに到着し、会議室にてミュージアムの説明を受け、趣旨を理解したのちに見学。大阪を舞台に明治時代以降に活躍した企業家たち105名のチャレンジと変革が紹介されています。改めて彼らの業績の素晴らしさを感じ、企業家の精神を学ぶ良い機会となりました。

続いて、大阪企業家ミュージアムと同じビル内にある大阪産業創造館を見学。大阪市経済戦略局の中小・ベンチャー企業支援拠点として2001年1月に開業されました。局の外郭団体である「公益財団法人大阪市都市型産業振興センター」が運営しており、多種多様なサービスで中小企業をサポートしています。

まずは産業館事業部部長の多賀谷元氏より、館の説明、事業・サービスについて、活用企業事例

などの説明がありました。コンサルティング、マッチング、セミナー、起業支援、開発支援、展示商談会、金融機関タイアップなど、ここですべてをまかなえるようになっていきます。その後「中小企業支援策をどのように活用しているか」、「同友会ではどのように支援等を学んでいるか」をテーマにグループ討論を行いました。自身も含めて皆さんも、支援策を上手に使えていない、また、同友会でもそのような学びは行っていないという発表がほとんどでした。最後に、大阪市立大学の本多哲夫教授より「中小企業にとって間口が広く幅広い支援があり、民間主導であるところが良い」とコメントをいただきました。各自治体にもこのような支援施設があると、より中小企業が盛り上がるのではないかと感じました。

立道 浩幸氏（(株)蒼設計・御殿場支部）

静岡同友会青年部発足を過去最高会勢で迎える ～尊敬される次代のリーダーとして仲間を増やそう～

7月22日(金) グランディエールブケトーカイ 参加148名



静岡同友会設立から43年目を迎え、新たに青年部が発足。全国11の同友会45名を含め148名で記念祝賀会を開催しました。

冒頭、藤原博美代表理事から、全国より参加の会員へ歓迎の挨拶と共に、「静岡の最高会勢の中で青年部発足を迎え、同友会運動発展の原動力に」と期待と激励のメッセージが送られました。続いて、初代部会長の寺田卓正氏(株ニューウェーブ)から「青年会員が自社経営と経営者の姿勢を学び実践し、市場と雇用を創造して社員が輝く企業をつくる『尊敬される次代のリーダー』として仲間を増やしていこう」と高らかに挨拶がありました。6名の副部会長からは、発足趣意、

基本方針、活動計画が発表されました。

記念講演は、中同協青年部連絡会代表の早間雄大氏(株クニヨシ)が「自社経営と同友会青年部活動は不離一体」をテーマに登壇。会で学んで実践する早間氏の真っ直ぐな経営姿勢と、先輩会員の想いの下に青年部活動があることを語り、「世界に誇れる中小企業をめざす青年部の実現を」の期待に、会場から大きな拍手が送られました。

4県から祝電も頂き、懇親会では県外参加者も青年部への想いを語り、発足を祝う記念すべき祝賀会となりました。

青年部会長コメント

全国の青年部活動は1970年の誕生から40年を経て、2011年に中同協・青年部連絡会が設立。現在5,300名を超える青年経営者が「世界に誇れる日本の未来を創ろう」と本気で誓い、切磋琢磨しながら全人格的成長を目指しています。静岡も昨年度から青年部準備会を立ち上げ、5月5日に設立、県定時総会での承認を経て、7月22日に記念祝賀会を開催できました。県内外から148名の方が参加し、盛会の裡に終えることができましたこと、青年部一同、心より感謝申し上げます。



寺田 卓正氏

今後は青全交への積極的な参加の確立や、支部を越えた交流と連帯を図り、「自社経営と青年部活動の不離一体」を具現化していきます。

寺田 卓正氏 (株ニューウェーブ・志太支部)

れ、早間氏の講演も盛況に終わり、静岡同友会青年部が新たにスタートしました。私自身も副部会長兼発足記念祝賀会の実行委員長として参加し、県内外の皆様から同友会に対する熱い気持ちが伝わり、良い刺激を頂きました。今後は、各支部での青年部新規立ち上げ及び既存青年部との体制づくりの強化・連携の確立をすることで、静岡同友会青年部が盛り上がるよう活動していきたいと思っています。

望月 紀志氏 (株望月庭園・富士支部)

参加者感想

全国から多くの有志が集まり、青年経営者の熱き魂が一つになる歴史的瞬間を体感してきました。

同友会は「行動」、その中で学び実行する。記念祝賀会は青年部発足趣意書の発表後、広島同友会・早間氏の記念講演でした。内容は参加した人しかわからない！これが行動の中での学びです。しかし一言で言うなら「素直に同友会に取り組む ロマンとソロバン」です。可能な限り行動して学び、同友会の仲間の意見を素直に取り組み、自分が思う頂点を目指し実行していきたいと思っています。

今年度の富士宮支部も良い風が吹いています。富士宮支部、そして私。青年部と一緒に成長していきたいと思っています。

坪井 一道氏 (クロストーク株・富士宮支部)

実行委員長コメント

青年部より発足趣意、基本方針、活動計画が発表さ

支部だより

富士宮例会

ベクトルを同じくしながら個性を発揮しよう！

7月8日(金) 志ほ川バイパス店 参加40名



バスーンを奏でる九川治喜氏

九川治喜氏(丸山工業株)が「ベクトルを同じくしながら個性を発揮しよう！」と題し報告しました。前半は生い立ちからJAXA(宇宙航空研究開発機構)関連の仕事への就職、現在の会社へ入社するまで、中学生の時に吹奏楽を始め、のちにオーケストラの一員になるまでに体

感した経験が現在の会社経営にとても役立っている、というものでした。後半は、同社の代表に就任してからの苦しい経験や、この苦しい時期をオーケストラの指揮者に置き換えて考え、何とか乗り越えられた体験などを、赤裸々かつわかりやすく披露。TBS系の高視聴率ドラマ「下町ロケット」に美術(部品)出演を果たした裏話や、現在もオーケストラで担当している楽器「バスーン」の美しい演奏を時折盛り込んだ「人を活かす経営」のヒントが凝縮された報告でした。

バズセッションでは「社員が調和と個性を発揮できる環境とは？」というテーマで白熱した討論となり、社員をよく観る、上から目線ではなく気づきを促す話をする、短所ではなく長所に視点を置くなど、業種は違えど「前提となる信頼関係を築く」というところにポイントを置いた意見が多かったことが特徴でした。

草ヶ谷 健太郎氏(草ヶ谷燃料株・富士宮支部)

浜松例会

社員が生き生きと働けば会社は変わる！

7月20日(水) ㈱エーグッド1F会議室 参加12名



知久 正博氏

知久正博氏(南知久太田会計事務所 代表取締役・静岡同友会代表理事)をお招きしての報告でした。従業員と信頼関係を築く事は経営上、重要な事です。知久氏は従業員との様々な課題と向き合いながら自分流の信頼関係構築法を作り上げていきます。同氏は毎朝、従業員と握手を

3年間やり続けることで所内の人間関係が少しずつ良くなり、仕事の効率化に繋がったそうです。まずは自分が先に、真剣に従業員の事を考えている姿勢を見せることが大切です。

バズセッションでは会社の有事に従業員が付いて来てくれたかどうか、まったく違う経験をした等様々なエピソードがありました。大事なものはテクニックではなく、日頃の姿勢や行動により従業員が大事にされていると感じることは、と意見ができました。

オブザーバーからは「会社の利益を上げるためにはお客様のお役立ちが前提にあるが、従業員に対しても同じ姿勢が必要だと感じた。自分の感情や都合を優先していたら何も解決はしない。」との感想、また「同友会は色々な考え、姿勢などを吸収させてもらえる学びの多い場所だと感じます。」と嬉しいコメントを頂きました。

例会の内容をより充実させて共に実りの多い会にしていきたいと改めて思いました。

杉山 尚也氏(㈱ハーモニー・浜松支部)

御殿場例会

社員と共に誇りの持てる会社を創る

—女性社長奮闘記—

7月13日(水) THE GOTEMBAKAN 参加70名



栗田 美和子氏

御殿場支部設立31周年記念例会として、東京中小企業家同友会・栗田美和子氏(㈱クリタエイムデリカ)を招き、「社員と共に誇りの持てる会社を創る」と題し講演頂きました。戦後、製麺所からスタートし、順調に事業拡大していると思われた矢先、会社内外の様々な問題・課題に直面

します。そんな折、知人の勧めで東京同友会に入会。入会後に栗田氏はどんな行動をしたか？それは東京同友会で「経営指針成文化セミナー」への参加。同友会活動を通じ、時間を掛け、経営理念を再度見つめ直し、経営指針を作り上げたそうです。経営理念に掲げ、講演タイトルにもなった「誇りの持てる会社づくりを通して全ての従業員の幸せ」を目指すため、社内のビジョンを共有化し、様々な取り組みを行っている栗田氏。経営指針の実現に向けて、アクティブ且つアグレッシブに取り組む氏の想いや人柄が大いに伝わってきました。講演を通じ、我々企業家がこれから何を重んじ、どんなビジョンを持ち、どんな経営者とならねばならないのか？そして自社の従業員を巻き込み一丸となって新たなチャレンジや取り組みを達成することの重要性。そんな想いに気付かされる90分間でした。

勝間田 賢一氏(㈱駿河調査設計・御殿場支部)

富士例会

仲間を知ろう、同友会を知ろう「新会員さんDOYU会社」 新会員さん自己紹介、そして前例会企画委員長が「わが経営を語ります！」

7月21日(木) ロゼシアター 参加34名

鈴木広之氏(㈱富士解業)、矢野雅一氏(㈱ウイン)、平野節子氏(㈱ウイン)、遠藤勝代氏(シーアールシー株)の4名が、自己紹介、入会したきっかけ、今後の目標等を語りました。「富士市で1番の企業を目指す!」、「人としてのパワーアップを目指す為に同友会の会員さんをお手本にしたい」という声や、「人にもものを与えて幸せを感じる人間になりなさい」との父親の言葉を目標に頑張っている話、「オンデマンド キャスティング パートナー」と言う自社理念をもとに会社の在り方を考える方と、今後の富士支部を大いに盛り上げる皆さんの報告に胸が躍りました。また、自分の入会当時を思い出し、今一度襟を正さなければいけないと感じました。

続いて加藤登久氏(㈱ファクトシステム)が報告。30歳の時、バブルがはじけた後に業務用プログラムを造る会社を起業。リーマン・ショック後、業績悪化に伴い自分を磨くために同友会に入会し、情報化部会長・例会企画委員長を経験し学ぶことができました。新会員の皆さんの道しるべとなるようなメッセージもあり、加藤氏の人柄が伺えました。

新会員さんや加藤氏の報告に沢山の元気をもらい、同友会の会員であることに誇りを感じました。

渡邊 正仁氏(㈱丸之工務店・富士)

中遠例会

一生をたくせる会社になろう ～社員と共に理念・ビジョン・夢の共有を～

7月21日(木) ワークピア磐田 参加12名



沼津支部の金指忠男氏(株オートベル代表取締役・県共同求人委員長)より「一生をたくせる会社になろう～社員と共に理念・ビジョン・夢の共有を」

というタイトルで報告が行われました。氏は分厚い経営指針書を携えて登壇。最初から全開の実践オーラに圧倒されますが、語り口は思いのほかソフトでした。

創業者である先代から経営を引き継いだ金指氏。先代との血縁はありません。当時、社員たちの方向性は必ずしも一致しておらず、経営危機も経験。「先代のようなカリスマ性はない」(本人談)ことから、指針経営への思いを強くしていったようです。指針経営の実行には社内での理念・ビジョンの共有の徹底が重要です。氏は現場を常に回り、週に数回社員との交流の場を設けるなど、コミュニケーションを徹底的に行うことでそれを実現し、経営指針を実効性あるものにしていきます。

「つぶれない会社」をつくるため財務面の強化も指針には盛り込まれているとのこと。夢だけを語ることのない氏の堅実さが印象に残りました。

鈴木 弘之氏(税理士法人 あい会計・中遠支部)

榛原例会

お客様満足度100%の水道屋をめざして

7月21日(木) さざんか 参加42名

池田順一氏(榛南水道(株)の事業継承についての報告でした。現在専務である池田氏は、弟とともに父が創業した会社の課題を一つ一つ整備し、水道工事業を通じ事業拡大を目指して頑張っています。



池田 順一氏

大型受注を受けたとき社長である父が病気で倒れ、公私共に多忙の中を極める中、現場で事故が起きました。会社が非常に苦しい時に兄弟で力を合わせ何とか乗り越え、これが「自分達でもできる」という自信に繋がりました。また、そのとき経営について何も分からなかったことを反省し、社内の問題として事業継承、資金繰り、人材育成等を挙げ、今後どのように会社をやっていかなければいけないのか考える機会をもらった、との事です。池田氏の報告からは「先を見据えて経営を考え、事業継承をしていかなければいけない」との思いが伝わりました。

バズ・セッションでは「同友会で学び、経営指針をつくり共にやっぺいこう」「経営を共にするパートナーを探そう」という意見、経営者として具体的なビジョンを示すべきというアドバイスが出されました。

植田 浩行氏(株榛原電業・榛原支部)

委員会・部会通信

第4回



共育委員会では会員企業の社員向け研修と経営者向けの勉強会の二本立てで活動しています。

1、4月に新入社員の合同入社式と一泊二日の若手社員研修。10月に若手社員のフォローアップ研修を行っています。

2のプログラムでは社会人としての心得と成長していく為のノウハウ、特にビジネスマナーとコミュニケーション能力を高めることを重点に行っています。また、他社の同じ世代と知り合うことは貴重な体験です。特にフォローアップ研修では4月の研修から半年の間に経験した悩みを共有・意見交換を行い、「悩んでいるのは自分だけじゃない」と感じることで

共育委員会

明日への勇気につながります。

2、経営者向けに「共育勉強会」を年間3～4回開催する予定です。山田前委員長の発案で始めたプログラムで、今年度も継続して「わが社にもいる困った社員」のテーマに本音で語り合う、例会形式の勉強会です。

人の悩みは各社共通の問題です。社員を磨き、会社を磨くためにはまず経営者を磨かなければなりません。同じ悩みで意見交換し、その姿を見ることで自分自身に気付く、まさに共育の原点がここに有ります。

3、これらの取り組みを通じて、社員同士が共に育つ、社員と経営者が共に育つ、経営者同士が共に育つことを目的に運営して行きます。

鈴木 雅夫氏(株ハチマル・共育委員長)

お問い合わせ・参加申し込みは、同友会事務局まで! TEL:054-253-6130

依頼者のより良い生活・人生に寄り添った解決を

弁護士法人 こだま法律事務所
代表弁護士 土屋 賢太郎氏 (三島支部)

事業内容：遺言・相続、高齢者・障害者問題、債権保全・
債権回収、企業法務 等の法律業務

設立：2010年

社員数：弁護士2名・事務員2名

入会：2014年3月

所在地：三島市大宮町3-20-23

TEL：055-941-9750

弁護士を目指したのは幼稚園から

「プロとしての矜持(きょうじ)を持って仕事をする」という理念のもと、2名の弁護士が法律相談を行うこだま法律事務所。代表を務める土屋氏が弁護士に憧れを抱いたのは幼稚園の時。けんかが嫌いで、声の大きさや腕つぶしの強さではなく理屈・証拠・論理の積み重ねにより打開するところに魅力を感じたとか。

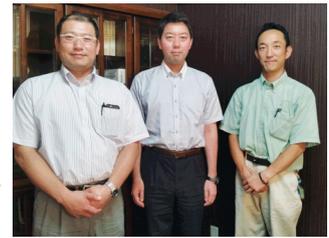
3年3ヶ月の勤務弁護士経験を経て2010年に沼津市にて独立。2013年に現在の所在地に移転、2014年10月に法人化しました。

依頼者に寄り添える体制づくり

設立当初は弁護士協会や法テラス(国が設立した法的トラブルの総合案内所)からの案件が依頼の大多数

を占めていました。三島に移転後、異業種交流会への参加をきっかけに紹介案件が増大。紹介いただいた案件に多くの時間を使いたいという思いから、取扱分野を限定する

という決断をしました。じっくりと依頼者の話を聞き、依頼者の今後の生活や人生を想像し、紛争や問題をどのように円満に解決に導くかを重視しています。



土屋 賢太郎氏 (中央)

法律事務所にも経営感覚を

同友会をはじめとする異業種交流会で多くの経営者と出会い、「経営」と「仕組みづくり」の必要性を強く感じたという土屋氏。事務方も含め、所員全員の仕事の価値を高め正当に評価をしてもらうことが経営者の役目だ、という先輩会員からの言葉が頭に残っているといいます。

今後、こだま法律事務所をブランディングしていく上での課題として、情報発信強化・仕事のシステム化・弁護士の増員・異業種との連携強化などを挙げていました。

取材・記事：久保 修平氏 (株和楽・三島支部)

取材：三田 宏一氏 (有エムケイテクノ・三島支部)

お茶からコーヒーの世界への挑戦

(株)アラビカコーヒー
代表取締役 高村 巖氏 (沼津支部)

事業内容：コーヒー豆焙煎工場、スペシャルティコーヒー、
業務用、小売店用と販売

創立：1974年3月

入会：2016年4月

所在地：駿東郡長泉町南一色186-8

TEL：055-986-6564

お茶からコーヒーへ

高村氏はお兄さんが三島でお茶問屋高村園を経営しており、約10年間お茶の仕事に関わり、嗜好品の世界を学びました。

29歳の頃、兄とは違う道で独立したいという思いからコーヒーの世界で生きていく決意を固めました。扶養家族4人を残してコーヒーの焙煎の勉強を始め1974年3月20日コーヒーの業務用卸としてスタートします。ところがコーヒーの市場は非常に難しい世界で、波乱万丈苦難の日々を送ることになったとのこと。

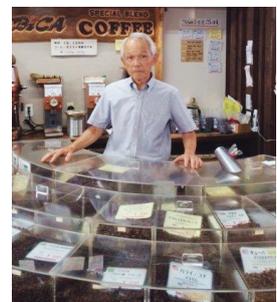
挫折と苦しみの日々へ

お茶の倉庫を改装、更に50万円の借金をし、中古車を買って営業を始めました。1970年代は大手コーヒー業

者が次々と沼津に営業所を構え、熾烈な競争が始まりました。その中での新規開拓は、最初は全く相手にされず後悔したこともあり

ました。社員3人と妻、鳴かず飛ばずの10年間。とうとうチャンスが到来します。ある人の紹介で大手百貨店から声がかかり記念特売に催

事として出店します。6日間のコーヒー販売を始めると売り場には長蛇の列ができました。その時の販売量は本社の1ヵ月に近いものとなり、コーヒーは近い将来家庭ドリップする時代がくると予感したそうです。



高村 巖氏

新しいコーヒーの世界へ

1984年、資本金200万円の株式会社にし、沼津の仲見世にコーヒー豆専門店コーヒー問屋1号店を開店しました。当時デパート以外のコーヒー豆店はあまりなく、熱海、富士、修善寺方面からも買いに来られる方がおり、店は順調に売り上げを伸ばします。その後、直ぐに御殿場に2号店を開店し、業務用卸売りから豆売りにシフトしていったそうです。

最後に高村氏は、継続は力なり、と語りました。

取材・記事：勝亦 悠一郎氏 (菱友冷熱(株)・沼津支部)

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数1039名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
はやみず しんご 速水 伸吾	(株)エスケートラスト 揚重業、内装業、修繕業 (新築物件による材料の荷揚げ及び内装工事一式、工場、倉庫等の企業向け修繕・宮繕事業)	三島	三田 宏一
やぶき ちがひ 矢吹 学	ハウスプラン 建築業 (住宅の新築工事、リフォーム工事、エクステリア (外構含む) 工事)	三島	柳 楽 洋一郎
たまり みつお 溜 光 男	チャーターヨットAmi チャーターヨット (ヨットスクール、チャーターヨット、一般研修、体験クルーズ)	沼津	長谷川 保
つじもと みつひろ 辻本 光 裕	(株)辻本企画 便利業 (不要品回収、庭木の伐採、遺品の片付け・その他)	沼津	藤原 博美
もりかわ よしのぶ 森川 剛 存	とんかつ こがね 飲食業 (とんかつ専門店)	沼津	藤原 博美
いわさき あけみ 岩崎 朱 美	岩崎労務管理事務所 社会保険労務士業 (社会保険等の手続き、給与計算、労務管理のアドバイス、年金相談)	静岡	松下 恵美子
さかぐち はるこ 坂口 晴 子	(株)仏壇協販静岡 仏壇・仏具の販売 (工場：仏壇製造・卸販売、店舗：仏壇・仏具の販売、墓石店の案内)	静岡	長岡 善章
せき なつみ 関 那 積	(株)中部特機設備 設備工事 (エアコンを始めとした空調設備の設計・施工・修理・点検・整備、個人宅・農家・店舗・工場・病院等への導入)	静岡	山田 誠司
ふかざわ けいご 深澤 圭 吾	(有)深沢米店 米穀類小売業 (米及び雑穀の精米及び販売)	静岡	伴 美智子
ますた だよし 柳田 義 高	マスダテクノ(株) 金属製品製造業 (塗装用ハンガー、住居用階段・てすり、遊具の製造)	中遠	大橋 徳久

■名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名	所属支部	旧名義人
おかべまさひこ 岡部 昌彦	富士宮信用金庫	富士宮	篠原 勇

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」にアップします。e.doyuからのご確認をお願い致します。

友達の輪 第29回

西子清英さん(デザイン工房 眠猫堂・静岡支部)とは同じ時期に同友会に入会しました。日頃から色々話をしていく中で、アイデアや参考になる意見を頂き感謝しています。ビジネスフォーム印刷という、伝票をメインとした印刷をしています。私は、父が興した会社を、兄と二人で会社を引き継いだものの、社員としてやっていた時と同じ考えでいいのだろうか、漠然とした不安をもっていました。経営について勉強しなければならぬと感じていた時に若杉さんに声を掛けられ、同友会に入会しました。入ってすぐ、経営指針を創る会に入会し、そこで、他支部の経営者の方からの厳しい意見を頂き、同期で入会したメンバーと経営について議論していく中で、少しずつ自社の経営課題や、経営者としての考え方を気づかされました。自社の経営についてあれだけ多くの方から真剣にアドバイスを頂いたのは本当に貴重な時間でした。



宮田 博文氏

次の友達の輪は、昨年度例会企画委員会で一緒に活動させていただき、今期はイントロセミナー委員会の委員長の宮澤学さんです。宮澤さん、よろしくお願ひします。

宮田 博文氏 (有)ミヤタ印刷・静岡支部)

同友会イントロセミナー IN 沼津

7月20日(水) プラサヴェルデ 参加29名

本年度支部会員目標160名を目指し、沼津支部にてイントロセミナーを開催しました。報告者は入会3年目の(有)高橋キーコーナーの高橋典雅氏。先代から引き継いだ3代目。老舗の鍵屋としての営業基盤はあるものの業績は今一つ。東京同友会所属の松永氏の紹介で入会后、支部の「経営指針を創る会」に参加し経営理念を成文化しました。その後、業績も持ち直し考えもぶれなくなったそうです。高橋さんは経営指針を車のヘッドライトに例え、指針は会社の進むべき道を照らすものでありこれからの会社経営には必ず必要であるとして力説。1名のゲストから入会宣言もあり大成功のセミナーでした。

露木 正樹氏 (株)スタート・沼津支部)



高橋 典雅氏

同友会 三つの 目的

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。
2. 同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
3. 同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。